

(別紙)

提出書類の区分	■温室効果ガス排出抑制計画書 □温室効果ガス排出抑制計画書(変更)				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社コスモス薬品 代表取締役 宇野 正晃				
主たる業種	60 その他の小売業				
事業概要	宮崎県内にドラッグストア69店舗を展開				
事業者の区分	■みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 □同規則第9条第2号に該当する特定事業者 □同規則第9条第3号に該当する特定事業者 □同規則第9条第4号に該当する特定事業者 □特定事業者以外の者				
計画期間	2018年度～ 2022年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (2017)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度② (2022)年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	17,127 t-CO ₂	t-CO ₂	20,000 t-CO ₂	16.8 %
	原単位の排出量	0.0136 t-CO ₂	t-CO ₂	0.0129 t-CO ₂	-5.0 %
原単位の考え方	店舗の温室効果ガス排出量÷(延床面積×営業時間) 現在の営業時間は11時間です。				
目標達成のための基本方針	2022年度までに、基準年度比で(原単位)5.0%排出量を削減する				
目標達成のための推進体制	取締役経営企画部長をリーダー、総務部長をサブリーダーとして福岡本社内にCO2排出量削減に関する委員会を編成し対策の推進を図る。				
目標達成のための措置の内容	・各店舗における空調・照明についての管理ルールを周知しエネルギー使用量の削減に取り組む。 ・年数経過店舗および新規出店店舗への省エネタイプの設備什器導入				
特記事項					

- 備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
- 2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。